

2024 年 1 月 6 日

(一社) 日本健康相談活動学会 会員の皆様

(一社) 日本健康相談活動学会理事長 三木とみ子

編集委員会委員長 鎌塚優子

## 日本健康相談活動学会誌第 19 巻第 2 号の【特別報告】の原稿再募集について

平素は本学会の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、下記の通り日本健康相談活動学会誌第 19 巻第 2 号の【特別報告】の原稿を 2023 年 12 月 31 日の締め切りで募集をしておりましたが、応募がございませんでした。

締め切りを 1 月 31 日(水)と延長いたしまして、再度募集をいたします。

会員の皆様の実践等については是非、ご報告いただきますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. テーマ

「教育現場における倫理的課題」

#### 2. テーマ設定の背景

教職員は、子供たちの成長に大きな影響を与えることから、倫理観や規範意識等を高め、子供たちの人権を侵害するようなことがあってはなりません。体罰やわいせつ行為、教職員間でのハラスメントなど不祥事が後を絶たない状況があります。一方で、健康相談・健康相談活動において、学校と地域や専門機関によるチーム支援が進められていますが、SC や SSW などそれぞれの職能団体が定めた倫理綱領等があり、守秘義務を理由に必要な情報が共有されず、支援が妨げられる場合もあるといわれています。さらに、学校では GIGA スクール構想による一人一台端末が実現し、授業以外にもオンライン健康相談などで利用されるようになりました。しかし、インターネット上での偽・誤情報等の流通やネットいじめの増加など ICT の活用に伴う倫理的課題が顕在化しています。そこで、教育現場における倫理や令和の日本型学校教育の基盤となっている ICT の活用における倫理についての課題を明らかにし、検討することを目的に本テーマを設定しました。

第 1 号は、「ICT 活用に伴う倫理的な課題とその対応」「教育における倫理や児童生徒への倫理教育」「心理職の倫理綱領や学校現場での連携における守秘義務の問題等」「学校現場での教職員の倫理教育、倫理的風土づくり」について、専門家へ論文執筆を依頼しています。

第 2 号は、教育現場での実践等について、会員の皆様より原稿を募集いたします。締め切りを延長いたしました。多数のご応募をお待ちしています。

#### 3. 募集原稿について

- ・A4 版 (1 行 40 字×35 行、1400 字) で、図及び表を含めて 5～8 頁
- ・原稿の締め切りは 2024 年 5 月 31 日 (金)
- ・「査読付き」とします。投稿論文とは異なり、厳重な査読はいたしません。執筆者間の調整や原稿全体の体裁、テーマとの一貫性を鑑み、編集委員から再度、執筆内容及び分量について修正の検討をいただく可能性があります。

#### 4. 募集の流れ

- ・学会ホームページ内の「特別報告原稿応募シート」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールに添付し、件名「特別報告応募」で、編集委員会までお送りください。
- ・募集締め切り日 2024 年 1 月 31 日 (水)
- ・編集委員会で執筆者を 4 名程度決定し、個別に結果をご連絡いたします。また、執筆決定者には、2024 年 2 月中旬に執筆依頼書と執筆要領等を送付いたします。

#### 5. 問い合わせ先及び応募先：(一社) 日本健康相談活動学会編集委員会 edit@jahca.org

以上